愛知大学人文社会学研究所所蔵　学会賞受賞卒業論文一覧

		分野	題名	学籍番号	入学年度	卒業年度	氏名
1	1	東洋哲学	中国古代のシャマニズム	50P4001	1975	1978	太田　美智子
2	2	東洋哲学	空海の即身成仏思想に関する一考察	51P4001	1976	1979	池田　仁
3	3	東洋哲学	荀子の實在論	52P4003	1977	1980	伊藤　雅敏
4	4	東洋哲学	爾雅釋親の研究	51P4008	1976	1980	山下　秀樹
5	5	東洋哲学	北宋道學の研究（上）	52P4008	1977	1980	澤田　憲正
6	6	東洋哲学	北宋道學の研究（下）	52P4008	1977	1980	澤田　憲正
7	7	東洋哲学	孫子兵法の道	56P4012	1981	1984	谷口　和典
8	8	東洋哲学	老子〝自然〟概念の展開	61P4002	1986	1989	伊藤　人二
9	9	東洋哲学	中国伝道	89P4018	1989	1992	戸谷　誠
10	10	東洋哲学	中国神話の発展と変遷	93P4003	1993	1996	岩田　華代子
11	11	東洋哲学	現世利益はどうあるべきか　―親鸞の視点から―	00P4020	2000	2003	早川　夏恵
12	12	東洋哲学	傳習錄下巻の分析　―編纂者錢德洪の意図	02P4019	2002	2005	佐々木　友彦
13	13	東洋哲学	『折たく柴の記』と中国思想	05L4307	2005	2008	高江　啓祐
14	1	西洋哲学	ウィトゲンシュタイン「論考」における自我把握	54P4065	1979	1982	鈴木　明
15	2	西洋哲学	ショーペンハウアーにおける意志について	57P4056	1982	1985	加古　淳子
16	3	西洋哲学	ベルグソンにおける自由の概念について	62P4065	1987	1990	中村　有里
17	4	西洋哲学	プラトンの教育論	88P4115	1988	1991	鳥居　亨子
18	5	西洋哲学	ハイデガーのデカルト批判	39P1306	1964	1967	杉浦　峯四郎
19	6	西洋哲学	ハイデガーとヤスパースにおける実存について	89P4105	1989	1992	上野山　麻紀
20	7	西洋哲学	「ウィトゲンシュタインのパラドックス」をめぐって	90P4106	1990	1993	梶浦　有一郎
21	8	西洋哲学	プラトンの言語哲学について	62P4068	1987	1993	堀脇　宏之
22	9	西洋哲学	ハイデッガーにおける世界内存在について	94P4133	1994	1997	古田　起代子
23	10	西洋哲学	快楽と欲求からみた生　―ギリシャ哲学をとおして―	98P4111	1998	2001	玉井　愛
24	11	西洋哲学	イエスとヘーゲル　―若きヘーゲルの宗教観―	01P4108	2001	2004	飼沼　ゆかり

25	12	西洋哲学	西田哲学における空間論—ライプニッツとの比較—	02P4101	2002	2005	小林　孝洋
26	13	西洋哲学	人工妊娠中絶と生命の諸問題	03P4103	2003	2006	小野澤　理絵
27	14	西洋哲学	ハイデガーのGe-stellの考察～『存在と時間』における「頽落」との比較～	04P4109	2004	2007	原口　遼
28	15	西洋哲学	ゼノンのパラドックス	04P4117	2004	2007	小川　明徳
29	16	西洋哲学	主人と奴隷の弁証法　—ヘーゲル『精神現象学』の一考察—	03P4122	2003	2006	岩月　まり子
30	17	西洋哲学	ニーチェにおける芸術の意味	03P4108	2003	2006	中村　俊介
31	18	西洋哲学	ふりがなについて	08L4393	2008	2011	足立　翔一郎
32	19	西洋哲学	世界内存在の個体性　—メルロー＝ポンティー　眼差しと持続—	03P4102	2003	2008	渡辺　亮
33	20	西洋哲学	老衰における末期の生について	08L4175	2008	2011	松下　瑞穂
34	21	西洋哲学	ベケット『フィルム』の構造　—存在と知覚をめぐる—	05L4021	2005	2011	吉田　聖惠
35	22	西洋哲学	関心の非本来性としての頽落の位置づけ	05L4001	2005	2008	柴　さとみ
36	23	西洋哲学	「哲学者の神」の考察	05L4173	2005	2008	平林　智恵美
37	24	西洋哲学	ニーチェのニヒリズムと芸術について	06L4143	2006	2009	山崎　優太
38	25	西洋哲学	映画の異常な記号　または映画は如何にして心配するのを止めて研究されるようになったか	09L4118	2009	2012	影山　虎徹
39	26	西洋哲学	ヒュームにおける共感の効用性について	10L4039	2010	2013	中根　弘貴
40	1	社会学	中部地方の過疎山村	55S4124	1980	1983	丹羽　明裕
41	2	社会学	戦後農政下の農村社会　—部落における組織・集団—	56S4117	1981	1984	瀬戸　隆典
42	3	社会学	地域の「教育力」をめぐる問題　—コミュニティづくりにおける子どもへの対応—鳳来町の事例から	58S4118	1983	1986	中村　直之
43	4	社会学	都市町内会の研究	59S4139	1984	1987	渡邉　めぐみ
44	5	社会学	近代的自我の地平	60S4103	1985	1988	伊東　浩史
45	6	社会学	戦争体験の継承と社会	11L4359	2011	2014	刑部　結
46	7	社会学	東日本大震災から見るローカルメディアの役割～宮城県石巻市の事例をもとに～	11L4048	2011	2014	松原　健二
47	8	社会学	地域開発論の論理・展開・課題　—大規模開発プロジェクトの事例を通して—	62S4117	1987	1990	塚本　善弘
48	9	社会学	社会的編成のメカニズムとジェンダー	88S5011	1988	1991	小島　達也
49	10	社会学	高学歴化と教育機会の不平等	88S5013	1988	1991	近藤　悟
50	11	社会学	現代の余暇と労働	92S5023	1992	1995	高橋　ゆみこ

51	12	社会学	排除という実践（プラチック） —理論家の基礎として—	92S5030	1992	1995	丹羽　健二
52	13	社会学	超高齢社会における日本の高齢者対策	94S5043	1994	1997	星野　利永子
53	14	社会学	離婚に伴う親子関係の変容　—新たな親子関係のありかた—	01S5013	2001	2004	金森　明日香
54	15	社会学	軽度発達障害時に対する学校教育の対応	02S5051	2002	2005	林　祐介
55	16	社会学	セクシュアルマイノリティへのまなざし	03S5025	2003	2006	青木　彩乃
56	17	社会学	女性の価値意識と現代社会	03S5064	2003	2006	横田　明奈
57	18	社会学	仲間関係といじめ	04S5124	2004	2007	飯沼　紗奈恵
58	19	社会学	非婚化・晩婚化について　—結婚意識と就労意識の変化—	05L4216	2005	2008	鈴木　桃子
59	20	社会学	科学の限界と社会　—科学観からの新たな知の展開—	08L4136	2008	2011	磯谷　雄一郎
60	21	社会学	学校教育の改革と学力観についての考察	10L4155	2010	2013	細川　博史
61	1	応用社会学	大都市近郊農村の実態と住民意識	53S4209	1978	1981	田川　敦子
62	2	応用社会学	地域研究の現状と課題	57S4212	1982	1985	見城　智博
63	3	応用社会学	小集団研究	58S4229	1983	1986	宮下　千代子
64	4	応用社会学	地域メディアに関する一考察	58S4236	1983	1986	渡邉　美世子
65	5	応用社会学	性役割の社会的考察　—雑誌小説の内容分析—	60S4215	1985	1988	中島　令子
66	6	応用社会学	生活世界のアソシエーション	61S4227	1986	1989	松尾　雄一郎
67	7	応用社会学	高齢化社会とシルバーサービス	62S4232	1987	1990	山根　由紀子
68	8	応用社会学	カレン・ホルナクの人格理論に関する一考察　—心の健康をめざして～	89S5101	1989	1992	相羽　美佐
69	9	応用社会学	流行現象に関する一考察	89S5110	1989	1992	桒原　多枝子
70	10	応用社会学	遊・非行・俗　—子どもの世界から—	90S5138	1990	1993	宮澤　緑
71	11	応用社会学	フランスにおける社会学的認識論誕生の軌跡・展開　—デュルケムからブルデューまで　—	91S5105	1991	1994	伊藤　智子
72	12	応用社会学	社会学の自己認識	91S5112	1991	1994	小野　直也
73	13	応用社会学	高齢社会に向けての地域福祉～地域福祉活動における社会協議会の役割について～	92S5108	1992	1995	落合　宏江
74	14	応用社会学	社会精神医学　—個人と家族の問題を中心にして—	93S5134	1993	1996	辻本　美枝
75	15	応用社会学	中流意識をとおしてみる日本人の「豊かさ」感	93S5144	1993	1996	長谷川　友紀
76	16	応用社会学	コミュニケーション、その可能性と不可能性　—シュッツ理論の批判的継承—	97S5119	1997	2001	定永　真

77	17	応用社会学	女性の結婚とそのゆくえ	98S 5108	1998	2001	丸山　朋子
78	18	応用社会学	地域社会と相互扶助機能	98S 5120	1998	2001	松﨑　智子
79	19	応用社会学	やおいに見るファンタジー共同体と少女たちの自己像	00S5114	2000	2003	山下　由夏
80	20	応用社会学	新しい著作権意識とその社会背景　―フリーソフトウエア、オープンソースソフトウエア、アスキーアートを事例とし	04S5129	2004	2007	兼松　佑至
81	1	行動社会学	貧困の再生産　―フリーターを中心に―	05L4172	2005	2008	畑佐　徹也
82	2	行動社会学	流行語とメディア	06L4191	2006	2009	米川　大輝
83	3	行動社会学	在日外国人のこどもたち　―ニューカマーと教育支援―	06L4421	2006	2009	田中　裕美
84	4	行動社会学	「希薄化する社会」の検証　―人間関係・コミュニケーションの観点から	07L4363	2007	2010	小柳　真哉
85	5	行動社会学	母親規範をめぐって	08L4181	2008	2011	小林　保奈美
86	1	心理学	障害者を対象とした心理的変化に関する研究　―構成的グループエンカウンターによる介入を通して―	07L4290	2007	2010	小野寺　望美
87	2	心理学	刺激等価における分類型訓練とネーミング訓練の効果について	07L4335	2007	2010	森　美香
88	3	心理学	POP広告による購買行動の変化	08L4107	2008	2011	青柳　沙穂
89	4	心理学	未知顔と既知顔に対する視線の動きの違い	07L4276	2007	2010	桜井　亜季
90	5	心理学	幼児の心の理論の関連要因の検討　―語彙発達、遊びの形態との関連から―	08L4332	2008	2011	三宅　いず美
91	6	心理学	POPが消費者の購買行動に及ぼす影響について	09L4358	2009	2012	丹羽　朋子
92	7	心理学	健常児と発達障がい児の色彩弁別能力比較研究および発達障がい児の対象の捉え方の改善研究	09L4047	2009	2012	伊東　美佳
93	8	心理学	聞き手の態度が話し手の身振りと発話に及ぼす影響	10L4277	2010	2013	松井　理恵
94	1	図書館情報学	著作権保護問題延長問題　―日本の課題と展望―	05L4211	2005	2008	鈴木　宏佳
95	2	図書館情報学	戦前から戦後、現代までの児童サービスの変動	05L4062	2005	2008	松井　翠
96	3	図書館情報学	美術館、博物館における作品のデジタル化	06L4393	2006	2009	小田　千晶
97	4	図書館情報学	大学図書館におけるデータベースの利用	07L4378	2007	2010	蕪城　有未子
98	5	図書館情報学	図書館の広報活動におけるイメージキャラクターの利用	08L4283	2008	2011	林　茉莉花
99	6	図書館情報学	子ども新聞の発行形態と動向	09L4164	2009	2012	石塚　夏美
100	7	図書館情報学	ご当地キャラクターのライセンシングと利用動向	10L4042	2010	2013	平山　陽子
101	8	図書館情報学	FRSAD（主題典拠データの機能要件）モデルの分類法への適用	10L4246	2010	2013	水野　資子
102	1	日本史	中世庄園の灌漑と開発に関する若干の考察　―東寺領丹波国大山庄について―	48H4347	1973	1976	杉浦　由美子

103	2	日本史	上代貨幣経済についての一考察	51H4301	1976	1979	有澤　猛
104	3	日本史	名田解体についての一考察　―播磨国矢野庄の場合―	51H4303	1976	1979	石井　悦子
105	4	日本史	名田解体についての一考察　史料編	51H4303	1976	1979	石井　悦子
106	5	日本史	矢作川流域に於ける条里制遺構の研究	53H4301	1978	1981	浅井　和宏
107	6	日本史	鎌倉執権政治の一考察	54H4305	1979	1982	蟹江　幸子
108	7	日本史	本途年貢納入の実態　―旗本本多氏知行地三河国碧海郡西端村を例として―	54H4315	1979	1982	柘植　立代
109	8	日本史	郡司任用制の研究―八・九世紀を中心として―	54H4326	1979	1982	増田　美佐子
110	9	日本史	律令制下における相続について　―嫡々相承制を中心に―	55H4323	1980	1984	山賀　久美子
111	10	日本史	藤原氏の成立と中臣氏	56H4316	1981	1984	佐野　佳子
112	11	日本史	藤原氏の成立と中臣氏　史料編	56H4316	1981	1984	佐野　佳子
113	12	日本史	幕藩体制成立期における領国貨幣について　―加賀藩の領国銀を中心に―	56H4322	1981	1984	富田　伸
114	13	日本史	九條家領の研究	57H4316	1982	1985	田中　眞司
115	14	日本史	九條家領の研究　補註編	57H4316	1982	1985	田中　眞司
116	15	日本史	調の収取に関する一試論　―中男作物制を中心に―	58H4305	1983	1986	内田　達也
117	16	日本史	「金沢貞顕について」	58H4306	1983	1986	大野　姫英
118	17	日本史	近江国三村荘の研究	60H4320	1985	1988	古田　功治
119	18	日本史	近江国三村荘の研究　補註編	60H4320	1985	1988	古田　功治
120	19	日本史	平安中期郡司の研究―郡司制度の変遷を中心として―	60H4313	1985	1988	田中　伸明
121	20	日本史	豊橋師団廃止の背景と反応　―上巻、背景編―	61H4328	1986	1990	佃　隆一郎
122	21	日本史	豊橋師団廃止の背景と反応　―下巻、反応編―	61H4328	1986	1990	佃　隆一郎
123	22	日本史	豊橋師団廃止の背景と反応　―別巻、補注編―	61H4328	1986	1990	佃　隆一郎
124	23	日本史	江戸時代における医師の拡がりについて―三河国宝飯郡を例に―	88H6020	1988	1991	竹政　寿幸
125	24	日本史	近江国における在地領主の一様相　―鎌倉・南北朝期の朽木家を中心として―	88H6023	1988	1991	西島　太郎
126	25	日本史	近江国における在地領主の一様相　―鎌倉・南北朝期の朽木家を中心として―　補註編	88H6023	1988	1991	西島　太郎
127	26	日本史	近江国における在地領主の一様相　―鎌倉・南北朝期の朽木家を中心として―　史料編	88H6023	1988	1991	西島　太郎
128	27	日本史	「豊橋ハリストス正教会史」	89H6029	1989	1992	瀧崎　純一郎

129	28	日本史	伊勢国智積御厨について	90H6008	1990	1993	木村　賢司
130	29	日本史	立原道造小論	50L4620	1975	1978	小谷　典子
131	30	日本史	「鳴物停止令」についての一考察	91H6013	1991	1994	小出　邦博
132	31	日本史	平安時代の女官制度について　―特に内侍を中心にその変遷について―	92H6010	1992	1995	葛島　夕紀子
133	32	日本史	天下不武―織田信長政権の成立過程とその構想―	94H6013	1994	1997	杉本　智子
134	33	日本史	吉田藩の在中教諭について	95H6011	1995	1998	遠藤　里恵
135	34	日本史	「近代における信州平田門人の展開　―倉沢清也と勧業活動を中心に―」	95H6013	1995	1998	大久保　久彦
136	35	日本史	幕末・明治期の三州渥美郡畠村について　―重立と呼ばれた人々を中心に―	97H6006	1997	2000	石井　一希
137	36	日本史	毛利家の台頭と庶子家の掌握に関する一考察	02H6034	2002	2005	山下　晃輝
138	37	日本史	北陸の南北朝動乱	03H6021	2003	2006	清水　洋平
139	38	日本史	中世尾張の寺院と武士	04H6030	2004	2007	加藤　菜絵
140	39	日本史	室町期の琵琶法師について	05L4183	2005	2008	遠藤　愛子
141	40	日本史	中世における戦乱と危機管理	05L4290	2005	2008	渡邉　由美
142	41	日本史	尾張藩横井家陪臣岩田家の研究	06L4374	2006	2009	奥田　千晴
143	42	日本史	室町期の大和の政治情勢	07L4053	2007	2010	鈴木　諒
144	43	日本史	中世の書状について	07L4077	2007	2010	森　由佳
145	44	日本史	古代元日朝賀儀礼について	08L4127	2008	2011	落合　博史
146	45	日本史	中世の問丸について	10L4286	2010	2013	鈴木　智也
147	46	日本史	律令制下における女性天皇について	10L4219	2010	2013	森田　享
148	1	東洋史学（アジア史学）	西山運動について一考察	50H4416	1975	1978	塩島　サエ子
149	2	東洋史学（アジア史学）	幕末徐鴻儒の乱についての一考察	53H4431	1978	1981	宮川　晴江
150	3	東洋史学（アジア史学）	孫呉政権論	57H4421	1982	1985	藤井　陽子
151	4	東洋史学（アジア史学）	戦国魏・国家考	59H4416	1984	1987	中垣　秋紀
152	5	東洋史学（アジア史学）	漢の匈奴政策	59H4422	1984	1987	政年　てるみ
153	6	東洋史学（アジア史学）	孫文の排満意識	60H4422	1985	1988	吉田　聡
154	7	東洋史学（アジア史学）	藩鎮魏博の構造に関する一考察	61H4417	1986	1990	森部　豊

155	1	地理学	尾北地域繊維工業の地域形成とその存立基盤	58H4504	1983	1986	尾関　眞知子
156	2	地理学	揖斐川中流域における水温形成について	59H4518	1984	1987	宮下　耕治
157	3	地理学	上海における機能地域の変容	60H4522	1985	1989	渡邉　聡
158	4	地理学	名古屋市における地下街の形態とその機能	90H6206	1990	1993	加藤　武司
159	5	地理学	奥三河山間地域における中心地	91H6223	1991	1994	松尾　明展
160	6	地理学	豊橋市におけるヒートアイランドについて	91H6218	1991	1994	西尾　美徳
161	7	地理学	JA愛知南が地域農業に果たした役割―電照菊とキャベツ―	05L4126	2005	2008	鈴木　麻由
162	8	地理学	新城市鳳来地域における『ヘボ食』慣行とその地域的条件	03H6211	2003	2006	大屋　智未
163	9	地理学	「奥三河における村落景観の特徴とその変化」	88H6216	1988	1991	田中　秀明
164	10	地理学	天伯原台地の河川水質	91H6227	1991	1994	森田　実
165	11	地理学	大都市圏周辺部愛知県岩倉市におけるコミュニティ形成	98H6222	1998	2001	竹村　健亮
166	12	地理学	地下鉄東山線東部における駅前駐輪場施設と利用者の特性	99H6208	1999	2002	土屋　章敏
167	13	地理学	中部地方の平成市町村合併の類型化と要因分析	02H6216	2002	2005	天野　友貴
168	14	地理学	志摩市片田における漁村構造と漁法	02H6204	2002	2005	高木　秀和
169	15	地理学	島根県邑智郡邑南町の「田舎ツーリズム」地域活性	06L4298	2006	2009	白井　麻実子
170	16	地理学	愛知県知多市日長地区におけるペコロス産地の形成過程と現況	09L4209	2009	2012	浅野　真希
171	17	地理学	狭隘道路における抜け道交通の現状と課題　―愛知県豊明市を事例として―	11L4074	2011	2014	梶野　柊芳
172	18	地理学	尾北地域繊維工業の地域形成とその存立基盤	58H4504	1983	1986	尾関　眞知子
173	1	日本語日本文学	石川啄木研究	50L4642	1975	1978	高畑　陽二
174	2	日本語日本文学	戦後児童文学におけるファンタジーの展開―「だれも知らない小さな国」「木かげの家の小人たち」を中心に―	50L4643	1975	1978	高山　善樹
175	3	日本語日本文学	冷泉歌学の基礎的考察　―今川了俊の研究―	51L4676	1976	1979	山下　みどり
176	4	日本語日本文学	清原深養父研究　その歌集と歌風について	53L4613	1978	1981	国島　二見
177	5	日本語日本文学	今昔物語集の研究　―飛鉢説話を中心に―	53L4614	1978	1981	熊澤　ひかる
178	6	日本語日本文学	夏目漱石の漢詩	53L4616	1978	1981	佐野　雅義
179	7	日本語日本文学	荻原井泉水論　―視覚を中心に―	54L4603	1979	1982	磯部　里美
180	8	日本語日本文学	荻窪物語の研究	55L4601	1980	1983	石崎　仁美

181	9	日本語日本文学	平兼盛集について	58L4635	1983	1986	三浦　恵子
182	10	日本語日本文学	「宇治拾遺物語」の研究	59L4641	1984	1987	福井　尚子
183	11	日本語日本文学	鮎川信夫論	60L4634	1985	1988	三浦　吉雄
184	12	日本語日本文学	「蜻蛉日記」の研究	60L4640	1985	1988	岩田　由美子
185	13	日本語日本文学	殉教者の詩　―富永太郎論―	61L4605	1986	1989	伊藤　勝基
186	14	日本語日本文学	宗尊親王と京極派和歌の研究	61L4619	1986	1989	権田　浩美
187	15	日本語日本文学	大正七年の傀儡師―芥川龍之介「邪宗門」編	62L4641	1987	1990	山田　新一
188	16	日本語日本文学	宣長の国語観	89L7007	1989	1992	石井　裕之
189	17	日本語日本文学	太宰治『斜陽』論	89L7011	1989	1992	白井　優子
190	18	日本語日本文学	宮澤賢治『銀河鉄道の夜』論	90L7040	1990	1993	豊田　有紀
191	19	日本語日本文学	「男衾三郎絵詩」の研究　―慈悲姫の名称変遷について―	90L7062	1990	1993	渡邉　則子
192	20	日本語日本文学	鎌倉物語『木幡の時雨』論　―その趣向と位相について―	91L7011	1991	1994	加藤　里佳
193	21	日本語日本文学	『竹むきが記』について	92L7014	1992	1995	後藤　さち子
194	22	日本語日本文学	樋口一葉「にごりえ」論	92L7030	1992	1995	堀池　道子
195	23	日本語日本文学	『菜穂子』論	92L7041	1992	1995	岩本　心
196	24	日本語日本文学	『藻屑物語』研究	93L7033	1993	1996	濱口　順一
197	25	日本語日本文学	正宗白鳥『玉突屋』の研究～自然主義文学における言文一致の研究～	92L7016	1992	1996	坂本　良裕
198	26	日本語日本文学	『子安物語』論	94L7027	1994	1997	瀬戸　友美
199	27	日本語日本文学	源氏物語における死の表現　―「なくなる」「うす」ーを中心に	94L7028	1994	1997	高嶌　直子
200	28	日本語日本文学	浮舟物語の仏教	95L7012	1995	1998	黒川　綾乃
201	29	日本語日本文学	俵万智の短歌研究	95L7022	1995	1998	茶谷　元子
202	30	日本語日本文学	源氏物語における「恋し」について	97L7004	1997	2000	池川　奈央美
203	31	日本語日本文学	『源氏物語』　―六条御息所の研究―	97L7039	1997	2000	藤田　恵子
204	32	日本語日本文学	梶井基次郎「檸檬」論	98L7014	1997	2001	渡邉　文子
205	33	日本語日本文学	サイデンステッカー訳『源氏物語』の研究―夕顔巻を中心に―	98L7015	1998	2000	綿民　華枝
206	34	日本語日本文学	平安文学における「衣」について～『源氏物語』における「夜の衣」と「中の衣」を中心に～	99L7020	1999	2002	池ノ谷　志津

207	35	日本語日本文学	「にごりえ」論	99L7032	1999	2002	安藤　美里
208	36	日本語日本文学	「浮舟」論　―和泉式部的な側面について―	03L7051	2003	2006	上久保　由美
209	37	日本語日本文学	御伽草紙『橋姫物語』研究	05L4047	2005	2008	渡会　佳子
210	38	日本語日本文学	『新可笑記』の研究	06L4244	2006	2009	鈴木　裕美子
211	39	日本語日本文学	慣用表現の用法　―類義表現との比較を通して―	08L4219	2008	2011	内藤　有香
212	40	日本語日本文学	現代若者の不安定性　―吉田修一『日曜日たち』をめぐって―	09L4240	2009	2012	吉岡　由貴
213	41	日本語日本文学	紫の上の薨去論	10L4363	2010	2013	荒井　映莉花
214	1	中国語中国文学	元曲について～西廂記とその周辺～	49L4960	1974	1977	加藤　比奈子
215	2	中国語中国文学	王安憶	55L4966	1980	1984	田宮　昌子
216	3	中国語中国文学	中国現代詩考　―朦朧詩人舒婷について―	59L4973	1984	1987	渡邊　千加
217	4	中国語中国文学	『儒林外史』論	61L4957	1986	1989	小澤　由紀子
218	5	中国語中国文学	徐志摩詩研究	59L4961	1984	1989	都築　順子
219	6	中国語中国文学	〝自蛇伝〟の成立と変遷	91L7403	1991	1994	飯田　直美
220	7	中国語中国文学	二つの「楊家将」	92L7425	1992	1995	藤田　泰寛
221	8	中国語中国文学	王翰　―その人と作品―	97L7413	1997	2001	小林　芙美
222	9	中国語中国文学	留候張良について	04L7103	2004	2007	高橋　翔子
223	1	英語英米文学	エミリ・ブロンテとその世界			1957	黒羽　栄司
224	2	英語英米文学	シェイクスピアの比喩的表現について	39L1045	1964	1968	安田　義正
225	3	英語英米文学	The Power and the Glory	48L4747	1973	1976	長谷　吉彦
226	4	英語英米文学	「若い芸術家の肖像」について　―その分析	49L4737	1974	1977	柴垣　政高
227	5	英語英米文学	Traditional Grammer and Transformational Grammar	52L4710	1977	1980	T.Okamura
228	6	英語英米文学	T・S・Eliot Four Quartetsについて	52L4756	1977	1980	鈴木　郁子
229	7	英語英米文学	Metaphor -- Two - step Approach to Its Interpretation	53L4756	1978	1981	大羽　茂久
230	8	英語英米文学	Virginia Woolf 論　―主としてTo the Lighthouse より　―	54L4703	1979	1982	石川　貴子
231	9	英語英米文学	Joseph Conrad の Heart of Darkness	54L4705	1979	1982	伊藤　智子
232	10	英語英米文学	動作教示言語の日米比較	55L4727	1980	1983	花田　紀世

233	11	英語英米文学	A story of W. Shakespeare ---Humore and Suggestive Expressions in Julius Caesar —	55L4728	1980	1983	濱嶋 尚子
234	12	英語英米文学	The Structural Vision of Ulysses	55L4736	1980	1983	松永 康伸
235	13	英語英米文学	William Golding : Lord of the Flies	56L4702	1981	1984	朝倉 ひとみ
236	14	英語英米文学	CORRECT ENGLISH	57L4731	1982	1985	Chie Hanai
237	15	英語英米文学	A Study of To the Lighthouse (To the Lighthouse における意識の影響力について)	58L4740	1983	1986	武田 智世
238	16	英語英米文学	J. D. SALINGER : THe Catcher in the Rye について	60L4722	1985	1988	鈴木 喜代美
239	17	英語英米文学	The Teaching of English in Japan	60L4730	1985	1988	西村 雅史
240	18	英語英米文学	A Study of East of Eden	60L4737	1985	1988	三原 真季
241	19	英語英米文学	The Teaching of English at Junior High Schools	61L4710	1986	1989	尾関 千代子
242	20	英語英米文学	On HAVE — Constructions	61L4736	1986	1989	星井 貴典
243	21	英語英米文学	An Analysis of The English Passive	62L4714	1987	1990	川口 忠行
244	22	英語英米文学	A Study on The Ancient Mariner —その音響について—	89L7102	1989	1992	石田 靖子
245	23	英語英米文学	JOHN KEATS の詩論研究 —Imaginationの考察—	90L7105	1990	1993	猪野 恵也
246	24	英語英米文学	Chaeles Dickens の研究 —A Christmas Carol について—	90L7146	1990	1993	山口 裕代
247	25	英語英米文学	文のあいまい性について(AMBIGUITY IN LANGUAGE)	91L7101	1991	1994	石原 有見子
248	26	英語英米文学	Wordworthの自然観 —精霊の踊る風景への誘い—	91L7148	1991	1994	吉田 賢二
249	27	英語英米文学	A Study of Ambiguity	92L7133	1992	1995	福留 聖子
250	28	英語英米文学	A Study on Teaching with Assistant English Teachers	93L7115	1993	1996	高木 順子
251	29	英語英米文学	Thomas Hardy論	92L7113	1992	1996	鈴木 和浩
252	30	英語英米文学	Virginia Woolf —To the Lighthouseについて	94L7137	1994	1997	山本 晴美
253	31	英語英米文学	『リア王』研究	96L7107	1996	1999	大嶽 留美
254	32	英語英米文学	The TempestにおけるCaliban研究	97L7140	1997	2000	谷﨑 ルミエ
255	33	英語英米文学	A Study of The Fool in King Lear	98L7141	1998	2001	宮川 優子
256	34	英語英米文学	英語と日本語における「笑い」の表現に関する一考察	99L7511	1999	2002	杉浦 多英味
257	35	英語英米文学	A Study of Shakespeare on Film	99L7517	1999	2003	沖 真澄
258	36	英語英米文学	Pecola's Role in The Bluest Eye	01L7553	2001	2004	大野 絵里奈

259	37	英語英米文学	ジェイン・オースティンの笑い —Pride and Prejudiceの面白さ—	06L4383	2006	2009	辻村　英介
260	38	英語英米文学	『嵐が丘』の力学 —物語に作用する二つの引力	10L4248	2010	2013	井寺　利奈
261	1	ドイツ語ドイツ文学	孤独者カフカの文学における救済	47L4556	1972	1976	古川　勝人
262	2	ドイツ語ドイツ文学	ノヴァ-リスの薄明世界	53L4811	1978	1981	川村　之
263	3	ドイツ語ドイツ文学	グリムとアンデルセン　その比較	57L4806	1982	1985	岩田　誠一
264	4	ドイツ語ドイツ文学	シラーの『ドン・カルロス』について	61L4803	1986	1989	粕谷　典子
265	5	ドイツ語ドイツ文学	『聖ユルゲンにて』について	62L4812	1987	1990	二宮　靖子
266	6	ドイツ語ドイツ文学	グリムのMärchen —いくつかのメルヒュンにおける女性の姿	62L4805	1987	1991	小川　美根子
267	7	ドイツ語ドイツ文学	プロイスラーの『クラバート』について	91L7227	1991	1994	森　奈加子
268	8	ドイツ語ドイツ文学	Max Frisch: “Homo Faber” Eine Analyse der Einstellung Fabers zur Natur	97L7215	1997	2001	堀田　洋一
269	9	ドイツ語ドイツ文学	グリム兄弟とアンデルセン —口承文学と創作文学の比較を通して—	00L7611	2000	2003	鶴田　涼子
270	10	ドイツ語ドイツ文学	世紀末ウィーンとクリムト	06L4140	2006	2009	神谷　桃子
271	11	ドイツ語ドイツ文学	森鴎外とドイツ	07L4141	2007	2010	岡　千尋
272	12	ドイツ語ドイツ文学	シュティフターの『水晶』	10L4272	2010	2013	森　康介
273	1	フランス語フランス文学	「異邦人」について　ムルソーの思考分析	54L4916	1979	1982	上田　みゆき
274	2	フランス語フランス文学	Arthur Rimbaud L’ ETUDE SUR VOYELLES	57L4904	1982	1985	石黒　ゆかり
275	3	フランス語フランス文学	Moira et Chaque homme dans sa nuit	57L4922	1982	1985	松浦　美幸
276	4	フランス語フランス文学	『恐るべき子供たち』に見るジャン・コクトーの世界	61L4902	1986	1989	伊東　万里
277	5	フランス語フランス文学	モーパッサン著作 『脂肪の塊』について	62L4907	1987	1990	下條　耕一
278	6	フランス語フランス文学	ジャンヌ・ダルクについて	91L7323	1991	1994	外山　たかこ
279	7	フランス語フランス文学	Michel de Montaigne “Les Essais” 死についての考察と生きる英知について	93L7316	1993	1996	山本　博史
280	8	フランス語フランス文学	クリスティヴァの女性思想 —おぞましき母による文学—	93L7319	1993	1996	酒井　万紀
281	9	フランス語フランス文学	アンドレ・ジード研究 —『背徳者』と『狭き門』をめぐって—	94L7326	1994	1997	渡辺　恭子
282	10	フランス語フランス文学	擬音語・擬態語の日仏比較研究	96L7325	1996	1999	兼松　裕子
283	11	フランス語フランス文学	カナダにおけるフランス語研究	97L7315	1997	2001	豊永　倫子
284	12	フランス語フランス文学	ビゼーの『カルメン』とメリメの『カルメン』 —登場人物の比較を中心として—	01L7709	2001	2004	高島　恵

285	13	フランス語フランス文学	マルグリット・デュラス『破壊しに、と彼女は言う』における「破壊」について	02L7719	2002	2005	山田　知佳
286	14	フランス語フランス文学	アンドレ・マルロー『王道』における自死	06L4425	2006	2010	太田　晶子
287	15	フランス語フランス文学	エッチェル編『動物の私的公的生活情景』の研究　―その成立と構成―	07L4392	2007	2010	石川　敦子